MOTION & CONTROL™
NSK

株主通信

2026年3月期(第165期)
中間報告書

2025年4月1日から2025年9月30日まで

目　次

- トップメッセージ …… 1-3
- CFOメッセージ …… 3
- NSK at a glance …… 4
- 事業戦略 …… 5-6
- 価値創造戦略 …… 7-8
  (知的資本/製造資本/人的資本)
- Bearings & Beyondの取り組み …… 9-10
- 環境への取り組み …… 11-12
- 連結財務諸表(要旨) …… 13
- 会社情報/株式情報 …… 14

株主さま向けアンケート
株主の皆様の声を
お聞かせください

お手数ではございますが、
こちらからご回答ください。
ご協力をお願いいたします。

証券コード：6471

日本精工株式会社

トップメッセージ

1916年の創業以来、NSKを取り巻く事業環境は急速に変化しています。100年を超えて培ってきた強みを活かし、現状の課題を克服しつつ「Bearings & Beyond」に取り組み、新たな分野での可能性を広げています。企業理念の下、ステークホルダーの皆様と新たな価値協創を通じて、持続可能な社会の発展に貢献し、社会から必要とされ、信頼され、選ばれ続ける企業を目指しています。NSKはさらなる成長を目指してグローバルで一体となり活動を進めていきます。株主の皆様におかれましては、一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

取締役 代表執行役社長・CEO　**市井 明俊**

MOTION & CONTROL™
NSK

企業理念

NSKは、MOTION & CONTROL™を通じ、円滑で安全な社会に貢献し、地球環境の保全をめざすとともに、グローバルな活動によって、国を越えた人と人の結びつきを強めます。

経営姿勢

1. 世界をリードする技術力によって、顧客に積極的提案を行う。
2. 社員一人ひとりの個性と可能性を尊重する。
3. 柔軟で活力のある企業風土で時代を先取りする。
4. 社員は地域に対する使命感をもとに行動する。
5. グローバル経営をめざす。

(NSK企業理念体系より)

◉中間配当について

当期の中間配当金は下記のとおりです。

1. 中間配当金　**1株につき17円**
2. 中間配当の効力発生日並びに支払開始日　**2025年12月4日(木)**

連結決算の概要

当社グループは、2022年度から2026年度までの5ヵ年を『中期経営計画2026(MTP2026)』と位置づけ、事業基盤の強化を進めています。当社のコアバリューである「安全・品質・環境・コンプライアンス」を経営の意思決定や行動において最優先される共通の価値基準とし、「収益を伴う成長」「経営資源の強化」「ESG経営」の3つの経営課題に取り組んでいます。

当中間連結会計期間の世界経済を概観すると、インフレの落ち着きを背景に景気は緩やかに回復傾向を示しています。一方で、米国の関税政策をはじめとする政策運営や各国の金融市場を巡る不確実性が高まっており、今後の経済成長の減速が懸念されます。

地域別にみると、日本は個人消費など一部に弱い動きがみられるものの、景気は緩やかに回復しています。米州は労働市場の悪化がみられますが底堅い成長が続いています。欧州はインフレが落ち着きつつあるものの、設備投資の需要は低迷が続いています。中国では不動産市場の低迷が続く中、政府の景気刺激策により消費が拡大したものの、景気は足踏み状態となっています。

このような経済環境において当社グループの業績は、為替が円高に推移した影響を受けましたが、インフレや関税に対して売価転嫁を推進したことにより、当中間連結会計期間の売上高は4,122億50百万円(前年同期比+3.7%)となりました。営業利益は164億67百万円(前年同期比+69.7%)、税引前中間利益は160億61百万円(前年同期比+107.6%)、親会社の所有者に帰属する中間利益は93億19百万円(前年同期比+373.3%)となりました。

(注) 当社は、2025年9月1日、ジャパン・インダストリアル・ソリューションズ第参号投資事業有限責任組合(以下「JIS」)から、JISが保有するステアリング事業をグローバルに統括する当社の持分法適用関連会社であるNSKステアリング&コントロール株式会社(以下「NS&C」)の全株式を取得しました。これに伴い当中間連結会計期間よりNS&C及び同社の子会社を連結の範囲に含めています。連結子会社化後、ステアリング事業を報告セグメントに追加しました。

NSKの未来

「Bearings & Beyond」で企業価値の向上と持続的な成長を目指します

中期経営計画2026では、事業基盤の強化を目指し「Bearings & Beyond」に取り組んでいます。「Bearings」とは、既存製品の付加価値向上を図ることで「Beyond」はコア技術を応用し、新たな価値を新領域で展開することになります。例えば「Bearings」では、トルク削減のため潤滑剤やオイルの量を減らすとベアリングが焼き付きやすくなり、製品寿命が短くなります。この場合、ベアリングだけでなくシステムやユニット単位での最適解を探る必要があります。昨今、重要なのは、新たな付加価値をもつ提案力ですが、NSKは課題や要望に対して、多くの実績に基づく仮説をもとに設計段階で課題解決への提案ができ、貢献できるのが強みです。

「Beyond」の例としては、PLM（プロダクトライフサイクルマネジメント）という状態監視で製品の余寿命を把握します。それと部品の補修事業や予知保全(MRO)を組み合わせ、製品のライフサイクル全体でサービスを提供する新たなビジネスモデルへの進化を目指しています。これにより製品が壊れる前に交換することができ、お客様の設備稼働の効率性向上や安定品質など新たな価値を提供できます。これは、製品販売としての「モノ売り」から、継続的に価値を提供する「コト売り」ビジネスへの転換です。NSKの技術や製品を単なる「精密・精巧な機械部品」から脱却させることでブランド力を高め、他社の一歩先を行く成長を目指していきます。

人材戦略とブランド構築

「人材が成長できる企業であり続ける」ことは人的資本経営の方針の一つになります。今までの常識に囚われず挑戦し続けるNSKの行動指針である「個を越えて、今を超えて」の実践として、職場の殻にとどまらずに外に出てお客様、地域の方々、パートナー企業や大学、最終消費者と対話することの重要性を伝え続けています。そのことは創意工夫や改善のきっかけとなり、真摯に取り組み続けることによってNSKのさらなる信頼獲得に結び付くはずです。

また、外に出て、学び、それを持ち帰り、現場で活かすことによる視点の広がりは、新たな市場の創出につながります。技術だけではなく、人によってもブランド力が磨かれるのです。人材がNSKのブランドを高め、ブランドが人材を引き寄せる。NSKの未来は、従業員一人ひとりの成長と挑戦によって形づくられていくと考えています。

NSKの強みは、これまで培った技術を通じて、円滑で安全な動きと省エネルギーに愚直に挑戦し続けてきた実績によるものです。この路線上にコア技術の深掘りと、医療や農業の進化・ロボット社会や循環社会への貢献といった新たな市場への参入を加えます。そうして、今後も企業価値向上と社会課題の解決に尽力していく所存です。

今後もNSKの成長、挑戦を不退転の覚悟で推進します。株主の皆様には、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

CFOメッセージ

適切なキャッシュ・アロケーションで株主資本コストを上回るROEの達成を目指します。

取締役 代表執行役専務　CFO　**鈴木 啓太**

- ☑ 欧州を中心とした構造改革の推進と効果刈り取り
- ☑ 米国関税政策への対応を推進 拡販によるポートフォリオ変革
  - ● アフターマーケット、精密、CMS拡大への仕掛け
  - ● 電動車向け製品及び非日系顧客への拡販

ROE改善に向けたさらなる取り組み 新たな中期経営計画を策定中

財務戦略 キャッシュ・アロケーション

MTP2026 財務戦略の基本方針

収益を伴う成長

キャッシュの創出
4,000～5,000億円／5年間
営業利益率8%
減価償却費
政策保有株式（原則保有しない）
ほか　低収益資産の縮減

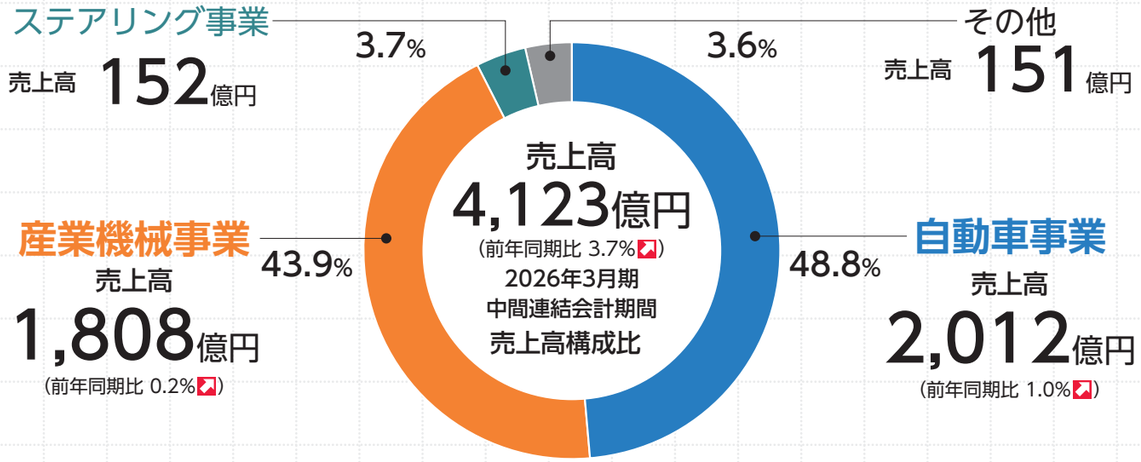
持続的成長のための投資
経営資源の強化

ESG経営

- ● 設備投資 **2,800億円／5年間**
  - ▶ 経常投資 1,600億円 能力・基盤維持
  - ▶ 増強投資 700億円 産機拡大・超安定化
  - ▶ 新技術 500億円 DX・新製品
- ● 技術関連費用 3～4%／売上高
- ● 企業価値を高めるための投資
  人的資本への投資　DXへの投資　M&A　ほか

安定的な利益還元の継続 1,000億円以上／5年間
- ● 配当性向30～50%
- ● 各期の配当はDOE 2.5%を下限の目安
- ● 自己株式取得（機動的に実施）

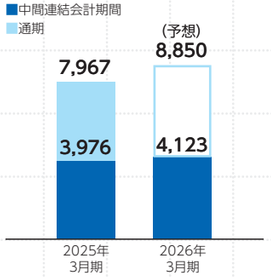
NSK at a glance　一目でわかる決算情報



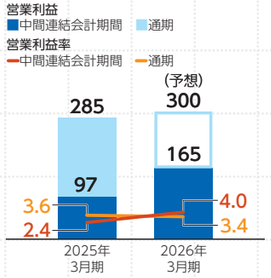
決算のポイント

2025年前半実績は為替が円高に推移した影響を受けたものの、米国関税に対する売価転嫁等で増収。
- ■ 産業機械事業：設備投資需要が緩やかに回復。工作機械、半導体製造装置向けの販売増加で増収。
- ■ 自動車事業：グローバル自動車生産台数が前年同期から上振れした影響もあり増収。
- ■ ステアリング事業：2025年9月1日、ステアリング事業を統括する関連会社の全株式を取得し、連結子会社化。

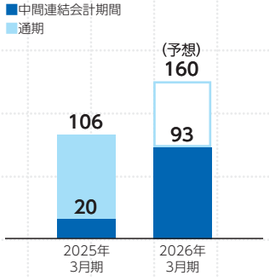
売上高（単位:億円）



営業利益／営業利益率（単位:億円）（単位:%）



中間（当期）利益（親会社の所有者）（単位:億円）



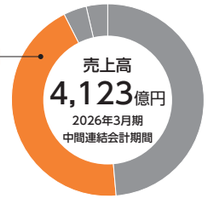
1株当たり配当金（単位:円）

	2025年3月期	2026年3月期
中間	17.00	17.00
期末	17.00	(予想) 17.00
合計	34.00	(予想) 34.00

（注）2026年3月期中間期のNSKグループの業績及び通期の予想には支配獲得日（2025年9月1日）以降のステアリング事業の売上高、損益が含まれています。また、負ののれんの発生益73億円、段階取得に係る差損47億円等、支配獲得に伴い発生した一時的な損益を計上しています。

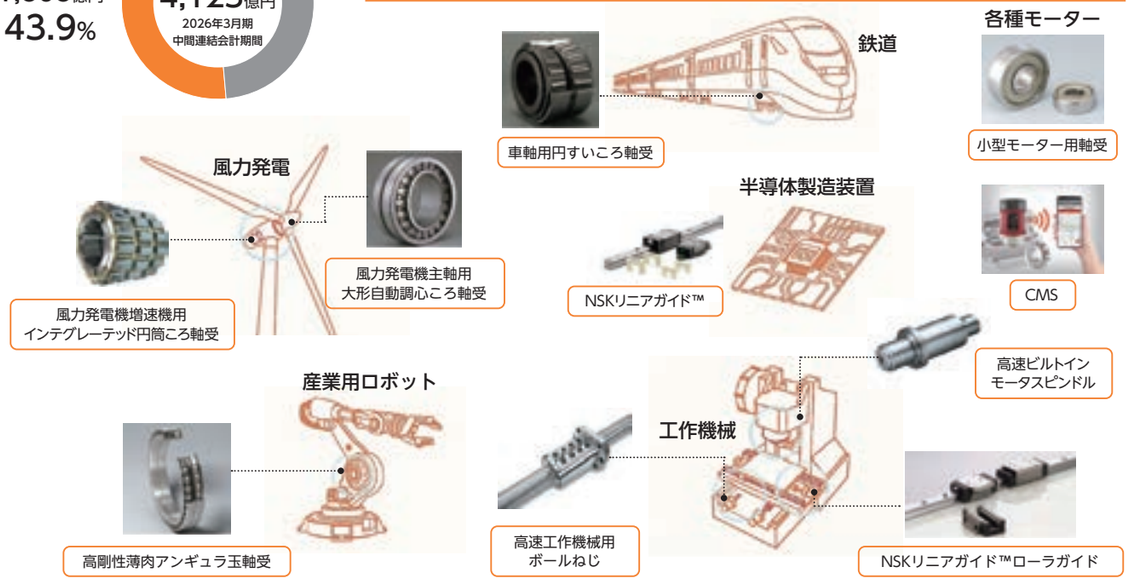
事業戦略 ❶ 産業機械事業の戦略と進捗

売上高構成



- ☑ 産業機械軸受：様々なタイプの軸受で、あらゆる産業に対応
- ☑ 精機製品　　：工作機械や半導体製造装置等で活躍

アプリケーション・製品事例



MTP2026の進捗と成長エンジン

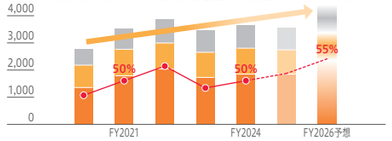
電動化、自動化、デジタル化、環境市場での中長期的な拡大を成長機会と捉え、産業機械事業のポートフォリオ拡大を図っています。特に収益性の高いアフターマーケット、精機製品に加え、今後のコト売りへの足掛かりとしてCMS事業を重点領域と位置づけ、事業の成長を目指しています。

FY2026ターゲット

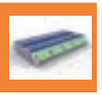
売上高 **4,500億円**

セグメント利益 **10%**

重点領域の拡大

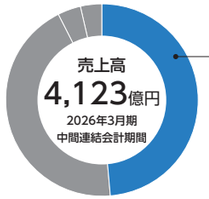


※ AM：アフターマーケット　CMS：状態監視システム　E&E：Electrical & Electrification

重点領域		技術・市場ニーズ	NSKの強み
アフターマーケット		●市販:ラインナップ、製品選定の分かりやすさ ●補修:グローバル供給体制 余寿命・状態の把握	●効率的な製品選定ツールの提供 ●PLM実現のための最適な提案 ●フィールドエンジニアによる最適な提案
精密		●難切削材の増加 ●メンテナンスフリー化・安定稼働	●高負荷容量化と高速性の両立 ≫ロバストダイナシリーズ
CMS		●設備の健全性を可視化 ●リモート監視で省人化と業務効率化 ●メンテナンス最適化による寿命延伸	●AIと設備診断エキスパートによる高精度な診断と改善の提案

事業戦略 ❷ 自動車事業の戦略と進捗

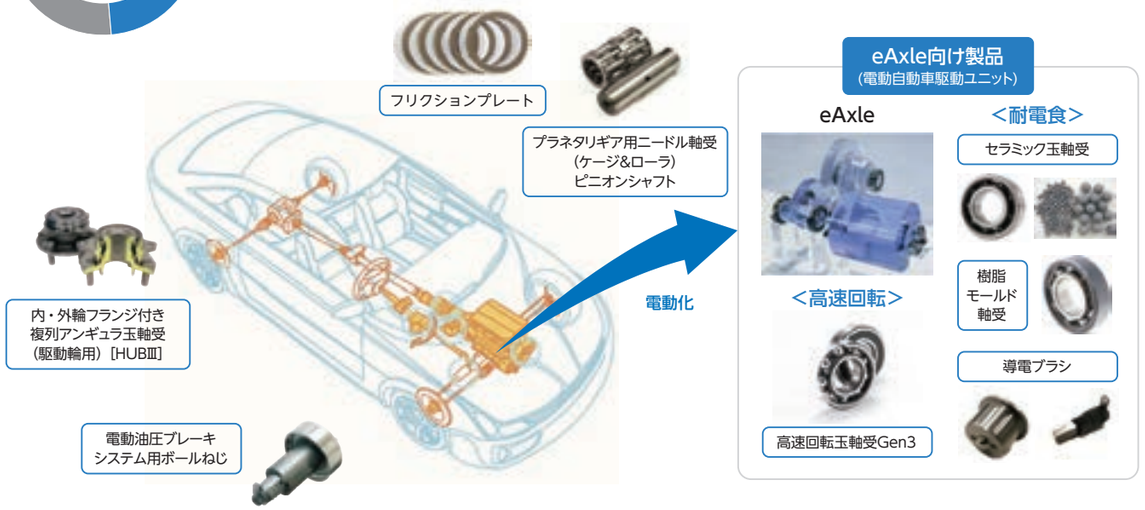
売上高構成



- ☑ 自動車に使用される様々な種類の軸受を提供
- ☑ AT※関連製品に加え、電動油圧ブレーキシステム用ボールねじなどを提供
- ☑ 動力源の多様化や技術革新に対応した新製品を開発・提案

※ AT：オートマチックトランスミッション

製品事例



MTP2026の進捗と成長エンジン

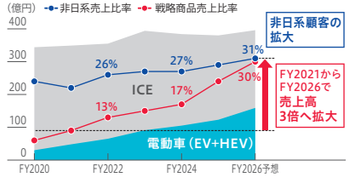
NSKはEV化を機とした新規顧客開拓と新商品提案機会が増加する中、高付加価値製品受注によるシェアアップ、電動ブレーキシステム用ボールねじ300億円規模への成長、非日系顧客の拡大を順調に進めています。

FY2026ターゲット

売上高 **4,100億円**

セグメント利益 **7%**

戦略商品・非日系売上の拡大



戦略商品		技術・市場ニーズ	NSK製品の特長
eAxle用軸受		●モータの高出力・高電圧化による電食問題 ●高速回転／低フリクション	電食問題／高速回転／低フリクションへ対応した製品ラインナップ
ハブユニット軸受		●航続距離の延長 ●バッテリー搭載による重量増への耐久性	低フリクションかつ高耐荷重のラインナップ ≫第3世代テーパーハブユニット軸受
電動ブレーキシステム用ボールねじ		●法制化で需要拡大 ●小型／高容量化 ●応答性	NSK独自の加工技術で小型／高容量化を実現 ボールねじタイプは応答性で優位

価値創造戦略 経営資源の強化

知的資本

技術者一人ひとりの知的活動が、NSKの未来を形づくる力となり、技術を通じて社会に貢献し、次世代に誇れる価値を創造していくことを目指します。

軸受の潤滑寿命に関する5つの因子

NSKのコアテクノロジー

「摩擦」を理解しコントロールする
トライボロジー

ベアリングの玉周辺の摩擦

「性能」の耐久性、信頼性の徹底追求
材料技術

セラミックスや樹脂を活用したベアリング

現象を仮想空間上に再現、性能を予測
解析技術

ベアリングのグリース流動解析の例

技術が「人」をサポートし、便利で安全で快適な未来を
メカトロ技術

アクティブキャスタ

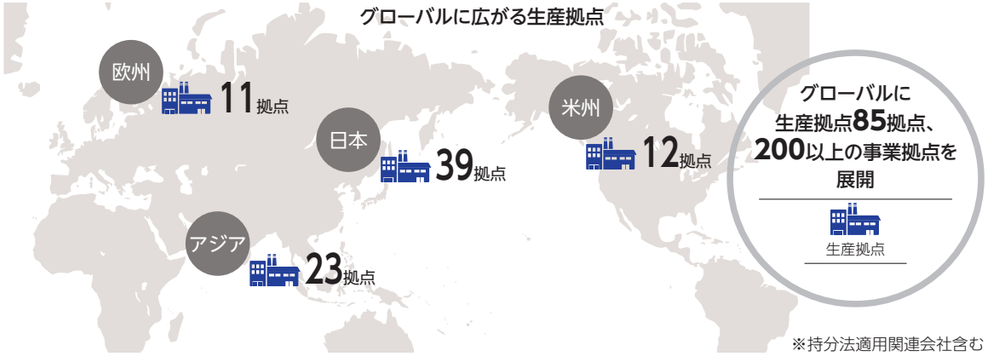
技術を形にする
生産技術

韓国 天安工場

製造資本

生産性向上にとどまらず、グローバルな競争力強化、人材戦略、教育体系の再構築、そしてグループ会社との連携による新たな価値創造へと広がっています。

グローバルに広がる生産拠点



※持分法適用関連会社含む

人的資本

人的資本の価値最大化に向けてチャレンジできる環境を整え提供しながら、戦略的な人材育成と人材ポートフォリオの構築を図っていきます。

NSKの目指す人的資本経営

経営戦略（中期経営計画MTP2026）

トライボロジーとデジタルの融合による価値創出で持続可能な社会の発展に貢献する必要・信頼される企業をめざす

ESG経営　収益を伴う成長

経営資源の強化

連動

人材戦略（中期経営計画MTP2026）

人材方針

NSKグループは、経営姿勢で「社員一人ひとりの個性と可能性を尊重する」ことを明確にするとともに、従業員一人ひとりが企業の貴重な財産であると考えています。

人材戦略

「多様な人材の活用」「いきいきと働き続ける職場づくり」「成長に資する機会と場の提供」という3つの柱で、公平で個を活かす活力ある職場づくりを推進しています。

目指す姿

1. 多様な人材が集まる会社（ダイバーシティ＆インクルージョン）
2. 多様な人材がスキル／能力を伸ばし成長できる会社（人事制度、教育制度、働き方）
3. 安全で健全な職場（健康経営、安全）

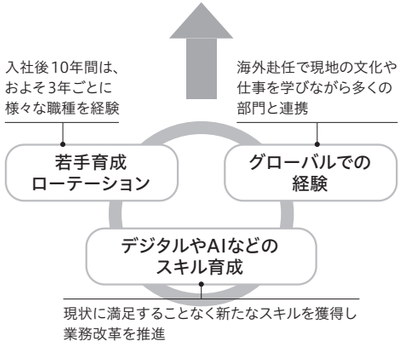
人的資本の価値最大化

多様な人材一人ひとりが個性を最大限に発揮し、さらには挑戦することで可能性を広げ、成長し続けられる状態を生み出す

持続可能な社会の発展に貢献する 必要とされ、信頼される企業へ

戦略的な人材育成のため異なる「経験」をさせるための施策

未来志向の高い目標に向かって挑戦し、前進し続ける人材



Bearings & Beyondの取り組み

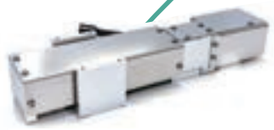
TOPICS AIロボティックス企業 株式会社アルティとの協業

**先進的なAI・ロボット技術と、トライボロジーや解析技術、製品技術を融合し、
高付加価値なロボット製品・サービスを開発・提供**

MOTION & CONTROL™ NSK × RT CORPORATION

**製造業やサービス業が直面する人手不足といった社会課題をAI・ロボット技術で解決する
「人と共存するロボット社会の実現」に向け、本件を契機にロボット事業への取り組みを本格化させる**

再生医療



低発塵・除染対応アクチュエータ

AI・ロボット技術

**フィジカルAIを基礎とする次世代AIロボットを
製造・供給する基盤の構築**

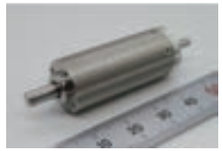
バイオ

ちとせバイオマス変換プラント

ユニット

全方向への滑らかな移動が可能な駆動ユニット
アクティブキャスター PalGo など

要素部品

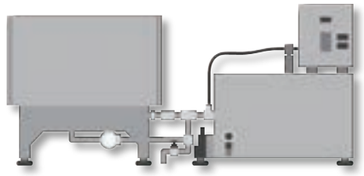


サービスロボットの触覚伝達装置向け減速機
バイラテラルギア など

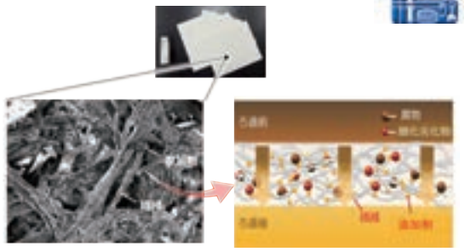
TOPICS NSKの潤滑技術を食用油劣化抑制フィルターへ応用

「2025年“超”モノづくり部品大賞」において「日本力(にっぽんぷらんど)賞」を受賞
祖業であるベアリング事業で培ってきた技術やノウハウを活かした新事業の展開に挑戦し、
その一環として開発

超モノづくり部品大賞



使用例：食用油ろ過機



本製品の構造　電子顕微鏡写真(左)
劣化抑制作用イメージ(右)

TOPICS ロボット向け新製品の開発

産業用ロボット分野での、軸受や直動製品で積み重ねた技術をベースに、今後の成長が期待されるヒューマノイドロボット領域への技術開発に取り組んでいます

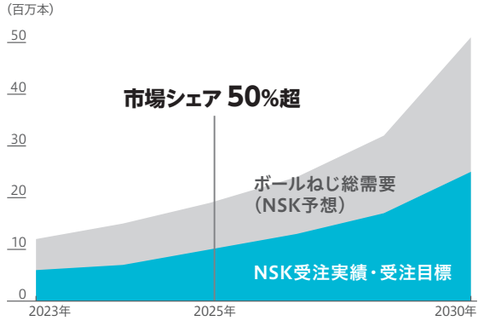
リニア
アクチュエータ

ロータリー
アクチュエータ

TOPICS NSKのコア技術を電動ブレーキ用ボールねじに応用し、自動車の電動化と安全に貢献

【FY25】電動ブレーキ用を中心に
1,000万本の受注に目途

**油圧からメカへの切替により
需要のさらなる拡大を見込む**



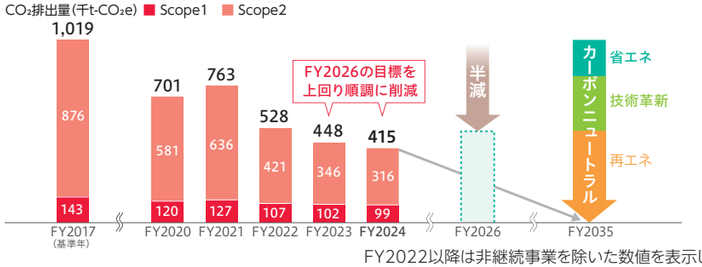
環境への取り組み

NSKは、カーボンニュートラル、資源循環、生物多様性の保全を3つの柱として
事業の成長と持続可能な社会の実現に向けて取り組みを進めています。

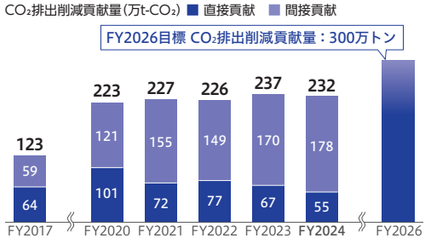
カーボンニュートラル

CO_2など温室効果ガス(GHG)の排出量削減を通じて、脱炭素社会の実現に貢献しています。

MTP2026の目標を前倒しで達成



お客様のGHG排出量232万トン削減に貢献



FY2022以降は非継続事業を除いた数値を表示しています。

※ Scope1：ガスなどの使用によるGHG排出量
Scope2：電気などの使用によるGHG排出量

DXを活用した生産の高効率化

工場の屋根に設置した太陽光発電

環境貢献型製品

TOPICS **カーボンフットプリント(CFP)算定報告書を発行**

日本の軸受及びボールねじ業界で初めて、製品の生産から廃棄までのCO_2排出量(CFP)を算定し、その算出条件も含めて公開しました。
透明性と信頼性の高いGHG排出量を提示することで、新たな市場ニーズを創出します。

対象製品

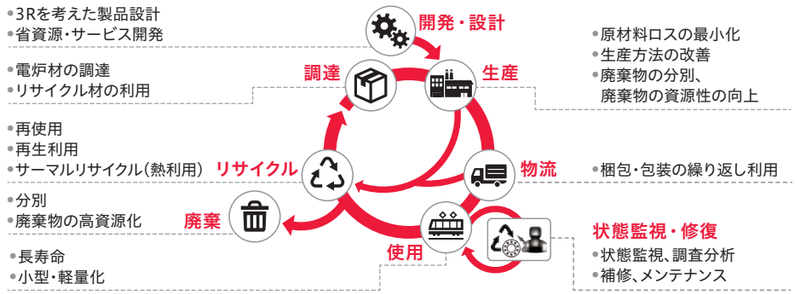
リコンディショニング
対応高負荷容量大形
円すいころ軸受

低フリクションボールねじ
「MT-Frix™」

資源循環

環境にやさしい製品づくりとムダのない生産を目指した取り組みを推進しています。

主要資材である鋼材は、その多くを再生スクラップ鋼で調達しています。これにより、新たな鉱石からの製鉄に比べてCO_2排出量を大幅に削減しています。また、製造工程で発生する鉄くず、研削屑についても、鉄鋼原料として電炉メーカーに再供給する仕組みを構築しています。



TOPICS **サクラパックス(株)と大形軸受用の梱包箱を共同開発**

梱包箱の側面の素材を木材からリサイクル可能な強化段ボールに切り換えることで、大幅な軽量化、開梱・解体・廃却のしやすさに加え、ライフサイクルCO_2排出量を従来比46%削減しています。

今回新たに開発した梱包箱

生物多様性の保全

TOPICS **生物多様性のための30by30アライアンス※1、TNFDフォーラム※2に加盟**

環境省及び国際的に推進されている枠組みへの加盟に基づき、事業活動と生物多様性との関わりを評価するとともに、世界各地の拠点で地域社会と連携した生物多様性保全活動を推進しています。森林保全活動や海岸の清掃活動などを実施することにより、CO_2削減や海洋プラスチック削減に貢献しています。

※1 30by30アライアンス：2030年までに陸と海の30%以上を保全するという国際的な目標の達成に向け、環境省が推進する官民連携の枠組み

※2 TNFDフォーラム：TNFD（自然関連財務情報開示タスクフォース）に関する最新情報を共有し、情報開示枠組みの構築に向けた国際的な支援組織

NSKワーナーのウミガメの保全活動

連結財務諸表（要旨）

中間連結財政状態計算書

単位：百万円

科　目	2026年3月期 中間 連結会計期間 (2025年9月30日)	2025年3月期 連結会計年度 (2025年3月31日)
資産		
流動資産	694,520	636,662
現金及び現金同等物	158,186	138,253
売上債権及びその他の債権	205,139	217,360
棚卸資産	210,737	185,878
その他の流動資産	120,457	95,169
非流動資産	606,567	582,881
有形固定資産	368,547	344,906
のれん及び無形資産	71,541	65,317
その他の非流動資産	166,478	172,657
資産合計	1,301,088	1,219,543
負債		
流動負債	339,721	301,291
仕入債務及びその他の債務	105,329	126,551
その他の金融負債	167,695	120,154
その他の流動負債	66,696	54,585
非流動負債	280,649	249,062
金融負債	227,771	203,470
退職給付に係る負債	18,441	13,806
その他の非流動負債	34,436	31,785
負債合計	620,370	550,354
資本		
資本金	67,176	67,176
資本剰余金	77,702	78,174
利益剰余金	378,047	375,003
自己株式	△9,818	△10,310
その他の資本の構成要素	149,252	141,417
親会社の所有者に帰属する持分合計	662,360	651,462
非支配持分	18,357	17,727
資本合計	680,717	669,189
負債及び資本合計	1,301,088	1,219,543

※中間連結財務諸表は、国際会計基準(IFRS)に基づいて作成しています。

中間連結損益計算書

単位：百万円

科　目	2026年3月期 中間 連結会計期間 (2025年4月 1日～2025年9月30日)	2025年3月期 中間 連結会計期間 (2024年4月 1日～2024年9月30日)
継続事業		
売上高	412,250	397,643
売上原価	324,794	311,937
売上総利益	87,456	85,706
販売費及び一般管理費	75,486	72,672
持分法による投資利益(△は損失)	1,699	△157
その他の営業収益	8,199	—
その他の営業費用	5,402	3,172
営業利益	16,467	9,704
金融収益	1,691	1,445
金融費用	2,096	3,413
税引前中間利益	16,061	7,735
法人所得税費用	6,308	3,683
継続事業からの中間利益	9,753	4,051
非継続事業		
非継続事業からの中間利益(△は損失)	—	△1,892
継続事業＋非継続事業		
中間利益	9,753	2,159
(中間利益の帰属)		
親会社の所有者	9,319	1,969
非支配持分	434	189

中間連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

科　目	2026年3月期 中間 連結会計期間 (2025年4月 1日～2025年9月30日)	2025年3月期 中間 連結会計期間 (2024年4月 1日～2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	55,108	5,478
投資活動によるキャッシュ・フロー	△91,439	△6,578
財務活動によるキャッシュ・フロー	54,719	△4,448
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,544	△2,340
現金及び現金同等物の増減額	19,932	△7,889
現金及び現金同等物の期首残高	138,253	150,583
売却目的保有に分類される処分グループに係る資産に含まれる現金及び現金同等物の増減額	—	△621
現金及び現金同等物の中間期末残高	158,186	142,071

会社情報／株式情報 (2025年9月30日現在)

会社概要

会社名	日本精工株式会社 (NSK Ltd.)
本社	東京都品川区大崎一丁目6番3号
設立	1916年 (大正5年) 11月8日
資本金	672億円
従業員数	7,414名 (NSKグループ 27,086名)
主な事業内容	産業機械軸受、精密機器関連製品、自動車軸受、自動車部品の製造及び販売

役員

取締役 代表執行役社長・CEO	市　井　明　俊
取締役 代表執行役専務・CFO	鈴　木　啓　太
取締役	山　名　賢　一
取締役	吉　田　ルリ子
社外取締役	津　田　純　嗣
社外取締役	泉　本　小夜子
社外取締役	藤　塚　主　夫
社外取締役	林　　信　秀
社外取締役	鹿　島　　章
執行役専務	御地合　英　季
執行役専務	近　江　勇　人
執行役専務	早　田　龍　史
執行役専務	後　藤　直　樹

所有者別分布状況

金融機関	239,946千株	(48.12%)
証券会社	22,873千株	(4.59%)
その他の国内法人	20,232千株	(4.06%)
外国法人等	106,131千株	(21.28%)
個人その他	109,484千株	(21.95%)

株式の状況

発行可能株式総数	1,700,000,000株
発行済株式総数	498,666,645株 (自己株式 1,333,355株を除く)
株主数	82,970名

大株主

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	78,519	15.74
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	32,793	6.57
明治安田生命保険相互会社	27,626	5.53
富国生命保険相互会社	22,400	4.49
日本生命保険相互会社	22,034	4.41
株式会社みずほ銀行	13,658	2.73
日本精工取引先持株会	11,219	2.24
日本精工社員持株会	9,427	1.89
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	9,065	1.81
株式会社日本カストディ銀行 (信託E口)	8,821	1.76

(注) 持株比率は、自己株式 (1,333千株) を控除して計算しています。

【こどもの未来応援基金】
2025年3月期(第164期)定時株主総会におけるインターネットによる議決権行使により削減された郵送費の一部を、「こどもの未来応援基金」に寄付しました。今年度寄付した150万円は学びの支援や衣食住など生活の支援、居場所の提供や相談支援に充てられます。ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	6月
配当の基準日	期末配当金　3月31日　中間配当金　9月30日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	〒100－8241 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社
郵便物送付先 電話お問い合わせ先	〒168－8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 フリーダイヤル 0120－288－324
各種手続のお取扱い店 (住所変更、株主配当金受取り方法の変更等)	証券会社等に口座をお持ちの場合 お取引の証券会社等 証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合) みずほ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店
公告方法	電子公告にて行います。 https://www.nsk.com/account/ 但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、東京都において発行する日本経済新聞に掲載する方法により行います。

＊未受領の配当金については、みずほ信託銀行及びみずほ銀行の本店及び全国各支店でお支払いします。

投資家情報サイトのご案内

社長メッセージや決算説明資料、財務・業績情報、株式情報などを掲載しています。
また、株主の皆様により深くNSKのことをご理解いただくために開示情報の内容充実に努めています。

➡https://www.nsk.com/jp-ja/company/investors/

統合報告書「NSKレポート2025」

2025年9月に統合報告書「NSKレポート2025」を発行しました。
本統合報告書は、NSKが社会への貢献と企業の発展を両立していく価値協創のストーリーについて、株主や投資家の皆様をはじめとする幅広いステークホルダーの皆様に理解を深めていただくことを主眼として毎年制作しているレポートです。

➡ https://www.nsk.com/jp-ja/company/investors/ir-reports/

企業広告「__ with Motion & Control™」第六弾のご案内

2025年11月に、当社の企業広告「__ with Motion & Control™」Being篇を公開しました。
シリーズ6作目となるBeing篇では、NSKの製品が支える円盤の上を球が自由に行き交います。「MOTION & CONTROL™を通じ、円滑で安全な社会に貢献」するというNSKの企業理念を表現しました。こちらの機構は「Japan Mobility Show 2025」で展示されました。
動画はスペシャルサイトからぜひご覧ください。

「あたらしい動きをつくる。」企業であることを表現した広告を展開

➡ https://www.nsk.com/jp-ja/company/motion-and-control/

スペシャルサイトは
こちらから

NSK
日本精工株式会社
ホームページアドレス
https://www.nsk.com/jp-ja/

UD FONT
VEGETABLE OIL INK
FSC www.fsc.org ミックス 紙 | 責任ある森林管理を支えています FSC® C022915